

(学年) 1 学年、(教科・科目) 芸術科・音楽 I

一斉学習

(題材) トーンチャイムで音と心を合わせよう！

(本時のねらい)

トーンチャイムは誰でも簡単に音を出すことができる楽器だが、一人一人の演奏技能だけでなく、他者との調和を意識して演奏する技能が必要となる。他者との音のつながりや他声部との重なり等について、生徒同士でどのように創意工夫すればよいか、また創意工夫するためにどのような技能が必要かを考え、演奏表現の工夫を行う 1 時間とする。

(ICT 活用方法)

前時に生徒が演奏している姿を、一人一台端末を使用して録画しておく。本時の練習前に録画を視聴し、今自分たちができていること、またできていないことを明確にする。また、題材導入時に視聴したお手本の動画と、生徒の演奏動画を、教育支援クラウドアプリ等を使い、生徒が一人一台端末で自由に視聴できるよう共有しておき、より改善点やその具体的な改善方法を個人やグループで考えることができるような環境を整える。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 10分	・各自でトーンチャイムを準備し、和音でのリズム練習を行う。	・楽譜の読み方や、楽器の扱い方の基本を復習する。	
展開 30分	・前時の演奏の録画を視聴し、個人で改善点を考える。 ・グループで意見を出し合う。 ・改善点を踏まえて練習する。	・音色・旋律・テクスチャを窓口として、改善点を考えることができるよう促す。 ・グループで改善点・改善方法を3つに焦点化させる。 ・ワークシートに自分自身の改善目標を記入させ、目標達成に向けて練習するよう伝える。	・前時の録画を視聴し、今自分たちができていること、またできていないことを明確にする。 ・トーンチャイムの題材導入時に視聴したお手本の動画と、生徒の演奏動画を、授業支援クラウドアプリ等を使い、生徒が一人一台タブレットで自由に視聴できるよう共有しておく。
まとめ 10分	・全員で練習を行い、再度録画し、視聴する。	・改善目標に沿って練習を進めさせ、録画を行うことで、改善点について確認させる。	・生徒が演奏している様子を一人一台端末で録画し、ディスプレイで視聴する。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・練習シートで授業の振り返りを行う。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・授業支援クラウドアプリで教員と共有している練習シートを使用し、振り返りを行う。</li></ul>
--	--	--	--

(授業の様子)



ディスプレイに、楽譜作成アプリの自動演奏を映し出す。



練習の振り返りシートを授業支援クラウドアプリを使用し教員と共有する。



演奏の様子を録画しディスプレイで視聴して改善点を話し合う。

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒は、楽譜を読むだけで演奏することがなかなか難しく、師範の演奏を聴くことにより曲の全体像をつかみ、演奏に取り組めることが分かったことから、楽譜作成アプリを使用し自動演奏を聴くのは効果的だと感じた。録画をする際、一つの画面で教室の全体を撮影することができないため、一人一台端末での録画をもう少し効果的に行う方法を考えたと思った。トーンチャイムの授業は、継続して授業改善を行いながら実施したいと考えているため、ICT活用により評価につながる使用方法をもう少し具体的に考えたい。